

日本を訪れて感銘を受けたこと 一聖徳二中 姜 昕言

秋風吹き始めた八月末、私達訪日代表団は待ちに待った日本の柏市に到着しました。迎えに来たバスの中、親切な柏市民の皆さんは、私達のためにお菓子やミネラルウォーター、一人一人の名前が印字された扇子など、心がこもったお土産を用意してくださり、それは初めて外国を訪れた私たちにとってとても温かく感じられ、安心しました。



ホストファミリーの家に到着する頃にはもう深夜になっており、ご家族の皆さんはとっくにおやすみになったと思いましたが、音を出さないように気をつけて家に入ろうとしたところ、吉田先生の奥様と娘さんは玄関前で私達を待っていてくれました。最初はびっくりしましたが、その後深い感動をおぼえました。家では新しいシャンプー、ボディソープ、柔らかいタオルなどが用意され、私達は暖かい雰囲気に入れられ、旅の疲れは一掃されました。そして、朝の綺麗で美味しい朝食は、朝から気持ち良く、元気のもととなりました。

初めての日本で、綺麗で整然とした街並み、閑静な環境は、私にとって印象的でした。中国ではどこでも見られるゴミ箱や清掃員がここではほとんど見られず、不思議に思いました。私は今までゴミを分類することがあまりなかったので、思わず反省し、ゴミを細かく分類して捨てるようにしました。今回、身の回りの環境を維持するということを初めて意識しました。

この度、カッコいい柏市長と端正な顔立ちの議長と会う機会があり、とても緊張してしまい、手の置き場すらわからないほどでした。しかし市長も議長もとても優しい方で、温かく私達を迎え入れてくださり、威厳のある場所でしたが、リラックスした雰囲気の中表敬訪問ができました。

その後私達はいろいろなところへ行きました。悠久の歴史がある吉田家、日本の伝統文化があふれる浅草寺、人々をびっくりさせる古化石博物館、絢爛多彩の水族館など、これらの見学を通じて、日本文化の悠久の歴史と先進的な科学技術を体験することができ、非常に満足しています。異文化への理解がないと、例えどんなに多くの記念品やお土産を持って帰っても、全く意味のないことで、心に刻みついた美しい記憶こそ私の目標であり、大切な宝物であると思います。

また、私に衝撃を与えた一つの出来事がありました。中国には「細微之処見精神」（細微のところに精神を見る）ということわざがあります。日本での体験を通して、よりこの言葉への理解を深めたような気がします。その出来事とは、どんなところでも、エスカレーターに乗るときに、皆さんが必ず自発的に左側に乗り、急ぐ人のために右側を空けておくことです。自分の国では右側通行の習慣はなく、少し乱雑に見えてしまいます。その上、エスカレーターの上で自分勝手なことをする人、周囲への配慮が全くな

い人もいて、それを思うと心が痛く、憂慮しています。それと同時に日本人の素行の良さに対し、心より敬服しました。

日本での体験はあっという間でしたが、たくさんのことを学ぶことができました。視野が前より広がり、自分の国の不足しているところや良くないところをより客観的に認識することができました。今の中国は高度発展している最中ですが、人々の素行を良くすることが私達中国人にとってのこれからの大きな課題であり、少し心配しているところでもあります。今、私が出来ることは、まず小さいことからでも自分の素行をよくするよう努力することで、周りの人にも影響を与えられるのではないかと思います。

私は吉田先生の娘さんー斉藤さんに、「日本でどんな礼儀が一番大切にしていますか？」と聞いてみました。彼女のたった一言、「Just smile.」は私にとっても衝撃を与えました。これは日本だけでなく、世界のどこにでも通用し、一番大切に一番温かいおもてなしだと思います。

また機会があれば、私は必ず日本に来たいと思います。